

タイで冷凍・冷蔵物流事業を拡大 大手外食チェーンのMKレストランと合併会社設立へ

センコーグループホールディングス株式会社(社長:福田泰久、以下センコー)及び、グループ傘下で冷凍・冷蔵物流事業を展開する株式会社ランテック(社長:山中一裕、以下ランテック)ならびにタイ王国の現地法人 SENKO (Thailand) Co., Ltd.(社長:大野 茂、以下センコータイ)が、同国の外食チェーン企業であるMK Restaurant Group Public Company Limited(会長:Mr.Rit Thirakomen、以下MKレストラン)と合併会社を設立することを2月26日に決定しました。

MKレストランは、タイ国内でMKレストランをはじめとする9つの外食ブランド店を持ち、638店舗を展開している同国トップレベルの外食チェーングループです。店舗で提供する食品は、同社の物流部門が冷凍・冷蔵による保管・配送を行っていますが、今後ますます増加する外食需要に対応するため、物流業務の効率化が課題となっていました。

今回の合併会社設立で、MKレストランは自社の物流部門(車両・物流センター・人員)を合併会社に移管し、センコーグループの冷凍・冷蔵物流の技術・ノウハウを活かした効率的で高品質な保管・配送体制を構築していきます。

さらに合併会社は、2019年春頃に新しい3温度帯の物流センターをバンコク市内に開設し、MKレストランの物流体制の強化を図るとともに、MKレストラン以外の顧客開拓を進め、タイでの冷凍・冷蔵物流事業を拡大させる考えです。

<合併会社の概要>

会社名	未定
本社所在地	1200 Bangna-Trad RD. Bangna Area Bangna District Bangkok TH 10260
資本金	13億バーツ(約44億円)
出資比率	MKレストラン 49.75% センコーグループホールディングス 29%、ランテック 20%、センコータイ 0.75% J-Will International (Thailand) Co., Ltd. 0.5%
設立	2018年3月(予定)

以上